

# 新成人との 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

〔開催概要〕

日時：平成23年11月29日（火）19:00～20:00

場所：教育総合センター

※ 平成23年度 第6回目

平成24年1月  
鹿児島市 市民協働課

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成23年11月29日（火）19：00～20：00  
場所：教育総合センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	新成人のつどい実行委員会 女性	<p>① 天文館むじゃきに多くの観光客が訪れているが、私は、観光客がアーケード内にあるパチンコ店やカラオケ店の前を通っていくことについて、違和感がある。行政としてどう思うか。</p> <p>② 鹿児島の観光では歴史探索がメインだと思うが、明治維新に頼りすぎではないか。</p>	<p>① 今、鹿児島市では回遊性の向上を軸に、どうやって中心市街地を活性化させるかということで、企業の皆様方と一緒に計画を立てて、実行をしているところです。 今、おっしゃられたように、以前はアーケードの中に映画館もございましたし、それに付随する施設もございましたが、時代の潮流とともになくなってしまいました。それを再度復活させようということで、We Love 天文館協議会というものが設立され、多くの事業者の方がそれに参画されて、まちづくりに取り組んでおられます。 天文館むじゃきに観光客の方がたくさん来られているということでしたが、これは私どもが、食の魅力を発信していこうということで、多くの事業者の方と一緒に取り組んできたことの成果の表れではないかと思っております。 ですから、その周辺の整備につきましては、これまで既存の施設として、まちの活性化に向けて取り組んできていただいた事業所ばかりですので、それを無下に排除することは難しいと思いますが、それを十分考慮したうえで、観光客の誘致については考えていかないといけないと思います。</p> <p>② 明治維新を構築し、推進した偉人を輩出した薩摩の気概や薩摩の歴史については、これまで鹿児島の観光のメインとしており、教育の面でも全国に発信をしてきております。 これはこれまでも鹿児島の魅力の一つであり、これからもその一端を担ってまいります。明治維新以前、または以後のものについても発掘していかないといけないと思っております。 最近で言えば、篤姫については大河ドラマが始まるまでは、なかなか鹿児島の方にも認知をされていなかったと思います。 大変残念なことですが、それが現実で、まだまだ偉人として世の中に出ていない方がおられると思いますので、それらを発掘して、新たな鹿児島の歴史や、文化、鹿児島の魅力として発信できるように、研究をさせていただきたいと思っております。</p>	<p>経済局</p> <p>経済局 教育委員会</p>	<p>※市長回答のとおり</p> <p>本市では、明治維新を推進・構築した偉人のみに限らず、近代日本に影響を与えた薩摩の人々をより身近に感じていただけるよう、観光オブジェを設置するとともに、かごしまボランティアガイドと巡る「鹿児島ぶらりまち歩き」においては、幅広く鹿児島の歴史を感じられるようなコースを設けているところです。 今後も、明治維新の偉人のみに限らず、鹿児島の歴史を感じられるような魅力的なまち歩きの実施や情報発信に取り組んでまいります。（経済局）</p> <p>本市には、「九州・山口の近代化産業遺産群」として世界遺産登録を目指す旧鹿児島紡績所技師館（異人館）などの建造物や史跡、その他旧島津氏玉里邸庭園のように明治維新関係以外の国指定文化財も数多くありますので、これらの広報・活用にも努めてまいります。（教育委員会）</p>

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成23年11月29日（火）19：00～20：00  
場所：教育総合センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
2	会社員 男性	③ これから鹿児島市として、県外に対して、特にアピールしたいことは何かあるか。	<p>③ 今、鹿児島市は、将来のまちづくりのビジョンということで、平成24年度から33年度の10年間を見据えた総合計画を作っているところです。その中で基本目標として、6つの柱を掲げておりますが、その体系として、基本構想を立てて、基本計画を立てて、実施計画を立てるといった仕組みを考えているところです。</p> <p>私は、市政を運営する上で、一番の基本となるのは市民の皆さんと協働してまちを作っていくところだと思っており、行政主体でもなく、民間主体でもなく、それぞれの人たちが役割を分担して、一緒に知恵や力を出して、まちを作っていくということを、6つの柱のトップに掲げております。</p> <p>そして、特徴のあるまちを作っていくといけませんので、鹿児島が全国に誇れる、輝く都市だということを打ち出していかなければならないと思っております。</p> <p>ここまで、私が市長に就任してから基本理念として掲げる「市民が主役の鹿児島市の実現」の柱である「協働」について話をしましたが、この他に、私は市長就任以来、環境問題についても積極的に取り組んできております。</p> <p>地球温暖化が叫ばれて長くなりますが、これからのまちづくりというのは、成長戦略の一つとして、環境を重点的に組み込んだ政策が必要だと思っています。</p> <p>軌道敷の緑化及び屋上・壁面の緑化、太陽光発電の推進、再生エネルギーをどうするかといった問題に取り組むことによって、鹿児島県の環境をよくすることで、鹿児島に観光で来た方に、「住んでみたい」「また来たい」と思ってもらえるようなまちを作っていければいいと考えております。</p> <p>行政というもの、いろんな分野を同時進行で進めていかなければなりません。環境だけでなく教育も大切だし、都市基盤の整備や福祉などあらゆる分野に気を配りつつやっていかなければなりません。その中で一つ、何を中心に進めていくかという点では、今後も環境の問題を重点的に推し進めていきたいと思っています。</p>	企画財政局 環境局	※市長回答のとおり

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成23年11月29日（火）19：00～20：00  
場所：教育総合センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	会社員 女性	④ 若者に対して、鹿児島で働きたいと思わせるような施策が何かあるか。	④ 私は、皆さんにぜひ鹿児島に残っていただきたいと思っております。そのためには、皆さんに残っていただけるような事業所がたくさん必要です。ただ、今は全国的に不景気で、雇用関係が大変厳しい状況です。 そこで、県も市も一緒になって企業誘致を進めております。また、若い方を雇用をしていただける場合は、その事業所に対して何らかの支援もしております。そういう行政ができる範囲での支援は、現在でも行っております。 そして、知事も私も、県外の企業を訪問して「鹿児島に進出して下さい」と、これまでお願いをしてきておりますが、現在の経済情勢もあり、なかなか進出をしていただけないという状況です。これからも誘致活動は積極的に進めていきますが、現在鹿児島にある企業にも、少しでも多くの方を雇用していただくよう、お願いをしていきたいと思っております。 また、元気で経験を持った団塊の世代や高齢者の雇用についても推進していかなければならないと思っております。 そういう方々はボランティアや地域社会を含めて貢献していただきたいと思っておりますが、今の大きな課題は若い方々の雇用の創出ですので、支援体制の充実など対策をとっていききたいと思っております。	経済局	本市は、ソフトウェア業やコールセンター等を中心とした都市型産業や製造業の誘致促進に努めているところです。 18年度から22年度の過去5年間の業種別の立地件数は、情報関連企業11件、コールセンター5件、製造業4件、研究開発型企業2件の合計22件となっております。 また、若年者の雇用状況の改善を図るため、雇用枠拡大の訪問要請を行うほか、雇用面のミスマッチ対策としてキャリア形成ガイドブックを発行しております。さらに、卒業後就職を希望する高校3年生を対象にした高校生ステップアップセミナーを開催しており、若年労働者の職業意識の変化に伴う定着悪化の防止対策を行っております。 そのほかにも、IT人材育成事業、ものづくり職人人材調査等事業等の実施による雇用機会の創出や、事業主に対するトライアル雇用支援金などの支給を通じた雇用促進に努めているところです。 23年3月には、中長期的な視点に立った本市商工業の振興を図るため、商工業振興プランを策定したところでございますが、今後におきましても、プランに掲げた施策を着実に実施する中で、雇用の創出に努めてまいりたいと考えております。

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成23年11月29日（火）19：00～20：00  
場所：教育総合センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	新成人のつどい実行委員会 女性	⑤ なぜ、市長になろうと思ったのか。きっかけや動機は何かあるか。	⑤ 私は平成16年に市長に就任しました。その前は市の職員でした。平成16年という年は、1市5町が合併する年でした。その合併準備のために、私は、当時の立場で走り回っておりました。その間に前の市長がやめられるということで、どういった方が次の市長になられるのかなと思っていました。 当時は新生鹿児島市が誕生してどういうまちづくりをしていくのかというのが大きな課題になっており、薩摩川内市が県内で一番最初に合併して、これからどんどん他の市町村が合併をしていくという、混沌とした時期でした。 そういつ中で、合併に携わった立場の者として、旧5町の方から後押しをしていただいたということもありますが、私自身、行政関係の知識・経験は誰にも負けないと自負していましたし、鹿児島市を将来に向かって良くしていきたいという気持ちも誰にも負けたくないと思っていましたので、ここで、鹿児島市の将来について自分でリーダーシップをとっていきたいということで、前の市長がやめられることになってからたった1ヶ月後ではありましたが、その時に決断を致しました。 私は、鹿児島で生まれて、鹿児島で育って、大学は都会に出ましたけれども、また帰ってきて市の職員として働いていました。 職員の時も、皆さんと一緒に何かやりたいということは思っていました。が、合併という鹿児島市の大きな変換点において、大きく人生が変わりました。 ですから、人生どこで何があるかわかりません。ずっと「市長になりたい」と思って突き進んでいく方もおられるでしょうし、私のように突然人生が変わる場合もあります。 ただ、その時その時に物事に真剣に打ち込んでいけば、突然転機が訪れた時にも冷静に、また勇敢に対処できると思います。	総務局	※市長回答のとおり
5	新成人のつどい実行委員会 男性	⑥ 市長は、私たちの年代の時に、どのようなことを考えて働いていたか。また、私たちの年代に求めることは何かあるか。	⑥ 私は20歳の頃は学生でした。勉強もあまりしなかったと思います。私は横浜にいましたので、都会が物珍しくて、いろんなところを走り回っていました。逆にそれが幸いしたのか、友達はいっぱいできました。それが今になって非常にいい結果を生んでいます。 その後、市役所に入って、谷山支所の税務課に配属されました。その当時は谷山市と合併して7年ぐらいいか経っていませんでしたので、人事交流もなかなか進んでいない頃でしたが、人と人の付き合いを楽しめるような性格ですので、すぐに職場の方とも仲良くなりました。その当時の方々はすでに退職されている方が多いのですが、今でも年に1度はお会いして、近況を語り合ったりしています。それが私にとって大きな財産となっています。 皆さんも、人生の中ではいろんな人と出会うと思いますが、自分から壁を作らないことが大事だと思います。 また、皆さんには、結果はどうなるかわかりませんが、若い頃は冒険もしてほしいし、いろんなことに挑戦してほしいと思います。	総務局	※市長回答のとおり

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成23年11月29日（火）19：00～20：00  
場所：教育総合センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	新成人のつどい実行委員会 男性	⑦ 平川動物公園周辺はイベントの際に渋滞が発生しているが、駐車場の場所を移すなどの対策はとれないか。	⑦ 平川動物公園は、平成27年度までの完成を目標にして、リニューアル整備に取り組んでおります。幸いなことに、リニューアルを開始してから、多くの方に、来園いただいております。 一方、お話があったように、周辺の道路で混雑や渋滞が発生するといった課題も抱えております。 この件につきましては、現在、鹿児島市と、金融機関、経済同友会、鹿児島大学といった産学官の各機関の連携のもと、平川動物公園と水族館の回遊性や集客の方法について検討していただいております。 この中で、アクセスについての提言も出てきており、JR指宿枕崎線の駅を活用したアクセスなどについて、現在検討中です。 これを実現するには、まだいろんな課題がありますが、それを一つずつ解決しながら、これまで以上に多くのお客様に来ていただきたいと思っておりますので、アクセスの利便性が向上するよう頑張りたいと思います。	建設局	平川動物公園周辺においてイベント等の際に渋滞が発生していることにつきましては、臨時駐車場の開設や開園時間の延長などにより、今後とも柔軟に対応していきたいと考えています。 また、平川動物公園への交通アクセスの向上を図るため、産学官の連携のもと、新駅設置の可能性について研究を進めていきたいと考えております。
7	会社員 女性	⑧ 市長の休日の過ごし方や趣味を教えてください。	⑧ 市長に就任した頃は、家庭菜園をやっていましたが、なかなか時間が取れないので、最近はできていません。 体を動かすことは大好きですし、スポーツはすることも見ることも大好きです。時間があれば、私は皇徳寺に住んでいますので、ふれあいスポーツランドに行って歩いて汗を流したり、電動自転車を購入して、それで走ったりしています。 私の仕事は何時から何時までという決まりはないので、土日も関係ありません。ですから、自分でこれがしたいと思っても、しっかりした時間はなかなかとれません。例えば夫婦で1泊2日の旅行に行きたいと思っても、それも取れないという状況です。 こういう立場になると、なかなか自分の時間は持てませんが、人と会うのが苦痛ではありませんので、いろんな会合に行って、いろんな方とお話するのが、私のリラックス方法の一つになっています。	総務局	※市長回答のとおり

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成23年11月29日（火）19：00～20：00  
場所：教育総合センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	新成人のつどい実行委員会 女性	⑨ 狭い道路に点字ブロックがついていると、杖をついている方や車椅子の方は大変だと思うが、鹿児島市では、どのようなバリアフリー対策をとっているのか教えてほしい。	⑨ まちづくりにおいて、障害者の方々にやさしいまちということも、大きな柱になると思います。福祉政策の中でも、高齢者対策とともに障害者対策も市政運営の上で重要であると考えておりますし、障害者の方に、障害を感じさせないというまちづくりが理想だと思います。先ほどお話があったように、狭い道路に点字ブロックがあっても、目の不自由な方が、うまく点字ブロックを頼って歩けないといったことは避けたいと思いますし、道路を造るにしても、施設を造るにしても、障害者の方が健常者の方と一緒に動けるような対策を立てていかないといけないと思います。鹿児島市としては、福祉部門を中心に、各部局で障害者に配慮した対策を行っておりますので、また何か気づいたことがあれば教えてください。	健康福祉局 建設局	本市のバリアフリー対策につきましては、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律や鹿児島県福祉のまちづくり条例、鹿児島市福祉環境整備指針に沿って取り組んできており、今後におきましても、より一層のバリアフリー化を推進してまいりたいと考えております。（健康福祉局）  歩道における視覚障害者誘導用ブロックについては、福祉部局と協議しながら、必要性が認められる箇所に、国の基準等に基づいて設置してきております。 今後も高齢者や障害者の方々を含め、すべての人々が快適に歩行や移動ができるように、歩道の段差解消や勾配緩和などのバリアフリー化を進めてまいります。（建設局）
9	新成人のつどい実行委員会 女性	⑩ 私は屋久島に就職する予定であるが、いずれは鹿児島市に戻ってきたいと思っている。そのような場合に支援するような対策はあるか。	⑩ また鹿児島島に帰って来ていただいて、たくさんのお子さんを産んで、素晴らしい子ども達を育てていただきたいと思います。しかし、鹿児島市には、他の市町村から来て、「住んでみたい」という方々に、補助金を出すという制度はないところです。ただ、市営住宅を申し込むときはどうするかとか、どういう企業がありますよということは各部局で案内できると思います。	企画財政局 経済局 建設局	総合計画や実施計画に基づく施策・事業を引き続き、積極的かつ着実に展開する中で、さらなる交流人口の拡大や、より快適で住みよい魅力的なまちづくりを進めるなど、多くの方々に本市を訪れてみたい、あるいは住んでみたいと思っていただけるよう、取り組んでまいりたいと思います。（企画財政局）  市外からの転入者の就職の相談につきましては、雇用相談室にて雇用相談を実施しており、55歳以上の方を対象に無料職業紹介も実施しております。 また、県のふるさと人材相談室におきましては、U・Iターン希望者を対象とした無料職業紹介を実施しており、これらも利用することができます。（経済局）

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成23年11月29日（火）19：00～20：00  
場所：教育総合センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
		⑪ 少子化が進んでいるが、鹿児島市で子供を産んで育てるメリットは何かあるか。	⑪ 少子化対策については、未来を担う子ども達を、産んで育てて社会に送り出していく環境を整えることが、私達行政には求められていると思います。 鹿児島市では、お母さんたちの負担を軽くしよう、子育てをみんなで見守っていこうということで、私が市長になってから、子育てに関する部署を作りました。また、子育ての拠点施設として、与次郎に子育て交流館「りぼん館」を作りましたし、親子つどいの広場については、天文館には「なかまっち」がありますし、谷山にも作って、現在、少しずつ増やしているところです。 そうすることで、子ども達を育てる親御さん方の共通の悩みを話していただいで解決したり、子どもが病気になった時にそれを手助けするシステムを作ったり、子どもが病気にならないように予防接種の補助をしたり、できるだけ子どもさんを育てる環境をよくしたいということで、様々な取り組みをしています。 屋久島からいつ帰って来られるかわかりませんが、ぜひ帰って来てください。	健康福祉局	※市長回答のとおり
10	新成人のつどい実行委員会 女性	⑫ 市長が県外に出たからこそ気づいた鹿児島の魅力や足りない点は何かあったか。	⑫ 県外に出て最初に感じたことは、これだけ違うものなのかなということでした。地下鉄などの交通網は発達しているし、情報は早く入ってくるし、言葉は違うし、ちょっと異次元の世界に入ったような感じがしました。 私が大学に通っている頃は、大学紛争が激しい時で、混沌としている時代でしたので、びっくりしました。 このような違った世界を肌で感じたからこそ、鹿児島のよさを再認識しましたし、鹿児島に帰っていろんなことがしたいと思いました。 また、東京は成熟した街だと思いましたが、鹿児島は住みやすいし、いろんな面でまだまだ発展するだろうという思いを持ちました。そして、最終的に鹿児島に帰ってまいりました。 私は、今、市長という立場で、そういう思いを多くの若い方々に抱かせるような鹿児島市を作っていかなければならないと思っていますところ。	総務局	※市長回答のとおり